

第7回委員会 確認事項に対する提案・意見の整理と資料16における対応

資料15

第7回会議での検討項目		番号	意見の概要	資料16での対応	第8回委員会での 主な検討事項	資料16 該当ページ
整備順序・整備の考え方に関する方向性		1	<p>櫓の整備を全面的、優先的に進めないと、一般市民は城の整備とは感じない。他例でも史実に反しながらも集客重視で整備された城は多い。</p> <p>城は構造的に「堀」「郭」「石垣」「櫓」からなるもの。一番ベースになる曲輪、石垣といった土台部分を整備するべき。ちょっと手入れをすれば、ここまで飯山城の魅力が回復するんだな、という現実を作り出し、そのうえで建物を整備すべき。</p> <p>見る人の目に耐えられるのは100年単位の史実の重さ。史実に反して無理して模造しても、10年程度しか効果が続かない例も全国にはある。史料も十分でない中で築造しても後世から批判を受けると思う。</p>	<p>前回の委員会資料12に示したとおり、史料集めと整備を並行で行う方針を記載しました。</p> <p>短期においては、飯山城らしさを生み出す土台作りと、シンボルとなる建築物についての史料集めを並行で進める方針を記載しました。</p>		16-2~3 16-31
<p>現地確認後の場所別課題についての議論 着色部は第8回委員会において、関連事項も含め議論をお願いしたい内容です。大きく4項目に区分しました。</p>						
城門～弓道場	弓道場利用に配慮した動線計画が妥当かどうか	2	フラットで幅の広い園路があった方がよい。弓道場との境界部に工夫を。	弓道場東側の園路整備については、仕切り整備(例えば植栽)とあわせて行っていく必要がある旨を記載しました。		16-36
北入口～弓道場	弓道場から帯曲輪へ続く動線の要否	3	- 1 細園路程度はあってもよいのではないか	- 1のルートは細園路として整備する方向でとりまとめています。		16-36
		4	桜井戸の復元を積極的に行ってもよいのでは？	<p>第8回委員会では、桜井戸をはじめこれまで議論の少なかった建築物以外の遺構の保存・整備等について議論をお願いします。</p> <p>なお、桜井戸復元については、サイン整備 井戸としての場の復元【絵図のイメージ】を検討 井戸自体は安全管理もありふた処理を継続する方向で検討。</p>	<p>検討事項2</p> <p>復元を目指す遺構の確認</p>	<p>本文 16-42,43 図面 16-44</p>
		5	舗装材への提案 コンクリートではなく、自然にやさしい素材に。雨のたまりにくい舗装の導入も検討されたい。	舗装材の参考イメージを資料に掲載しました。		16-37
	北側の入口整備への提案	6	とくになし	大型車両の駐車スペースとしての利用を記載しました。		16-35
西入口駐車場	入口部分の現地確認	7	身障者駐車場は現在の心幸食の駐車スペースを有効活用する形でのよいのではないか。	現地確認のとおり心幸食の駐車スペースを活用する方針を記載しました。		16-35
西曲輪	藩主の館を再生し、資料館として活用することについて	8	<p>資料館と管理事務所の機能を集約した小規模な建物を整備してはどうか。ただし広い広場の機能を低下させては意味がないので、位置と規模には注意が必要。</p> <p>無理に建物をつくるのはどうか？跡を示すことでもよいのでは。</p> <p>資料館をつくるなら仏教寺院の多い飯山の雰囲気踏まえた浄土式の庭園を整備したら資料館にマッチするのでは？</p>	<p>市民会館では展示している絵図面もあることから、その収容も含め、25年先程度を見据えた本計画においては、ふるさと館との役割区分を考えたながら資料館的な空間は必要と考えられます。</p> <p>その比較案をもとに第8回で議論をいただきたいと思います。</p>	<p>検討事項4</p> <p>資料館・管理機能の配置</p>	<p>本文 16-50 図面 16-51</p>
帯曲輪	段階を追って復元する場合の整備方法へのご意見	9	[現地] 段階整備もひとつの方法であるが、西曲輪から帯曲輪へ続く既存路の線形を見直し、二ノ丸まで到達するルートも検討してはどうか	三年坂側から車両を上げるルートは確保しにくい(下記説明参照)ことから、西曲輪側から二ノ丸方面に上がるルートの線形を見直す検討を行いました。	<p>検討事項1</p> <p>車両を二ノ丸まであげる動線と帯曲輪切岸整備の検討</p>	<p>本文 16-36 図面 16-40,41</p>
西曲輪・帯曲輪の曲輪の復元						
三ノ丸	三年坂の再生・整備の方法(管理車両通行を検討)	10	[現地] 両用の園路 併用の園路は可能ではないか？	<p>三年坂付近で車を上げることが可能な園路の確保には、車が回転できるスペースが必要。</p> <p>仮に一方通行として利用しても、弓道場横の狭い空間を車両が通る必要性が生じる。</p> <p>現状の縦断勾配が16.5%あり、車両の坂路としても上限超過 西曲輪 帯曲輪 二ノ丸 のルートを管理車も可能なルートに設定</p>		

第7回委員会 確認事項に対する提案・意見の整理と資料16における対応

資料15

第7回会議での検討項目		番号	意見の概要	資料16での対応	第8回委員会での 主な検討事項	資料16 該当ページ
三ノ丸 三ノ丸と二ノ丸の広場の性格区分・ 利用方針	11	三ノ丸に二重櫓を整備するという考え方はどうか？櫓があったことを 礎石で明示する。ただし、北側の切岸斜面の整備とあわせてだが。 和風の庭園の整備を検討されてはどうか？	三ノ丸は、元来は武具庫と二重櫓（北方からの敵の監視）があり 北側のエリアの守りの要所と考えられるため、本丸～二ノ丸より続 く雰囲気との調和を図ることを重視 面的な庭園的整備は行わず、広場＋補完的な和風植栽 の方向 で検討しました	検討事項3 広場ごとの主 要植栽種およ び三ノ丸広場 の整備内容	本文 16-33 16-46 図面 16-48	
二ノ丸						
本丸 葵神社に関する委員会意見集約に 向けた議論	12	仮に杉を切った場合は鳥居しか見えずお城らしさが認識できなくなるこ とを前提に移設検討のお願いをする 江戸末期への復元という整備方針に基づいてお願いをしていく 城跡の史跡整備、市のまちづくりのプラスになるので移転をお願いし たいという方向を委員会として提言する	葵神社も含め、城跡と関係の薄い施設については、城跡整備の視点 からは移設が必要である旨を前段で示しました。 そのうえで施設整備に関する図面等では、葵神社を移設することを前 提にした資料作成を行っています。		16-20 16-32以降	
石垣の復元の範囲及び石垣の間、 上の樹木の扱い	13	[現地] 石垣の樹木は育まれた命の展示として考えた方がよいのでは？ 伐採だけでは萌芽再生する 伐採＋抜根が必要 本丸西側の石垣整備を進めてはどうか？ 史跡区域内の石垣の復元 復元に際しての条件は建物ほど厳しくはない。絵図で石垣の範囲を 確認し、発掘調査を実施。絵図との整合が確認できれば整備可能 大半は使われている印象。数をカウントするなどしてまかなえる面積 を検討するもの方法のひとつ。	葵神社の移転を提言する観点に立ち、本丸の石垣については、以下 の方向でのとりまとめを検討しました。 ・スギなど西側の神社にまつわるような樹木は伐採 ・石垣復元に向けた発掘調査の実施 ・発掘結果を踏まえた石垣整備へ 石垣の整備に到達できない場合は、斜面を別の樹種で植栽。	検討事項2 復元を目指す 遺構の確認	本文 16-42,43 図面 16-44	
既存の切 岸[外周 部]	14	土壘を保全し、伝えるためにアジサイを除去してはどうか。 三ノ丸北側の切岸の植生を変えることは可能か？ 法面の上には山に生育する自生種、斜面下部は地被類で覆うよう な形を考えてもらいたい。	園内の既存のアジサイの扱いについて方針を記載しました。 切岸：好陽性のつる植物（北側はクズ、東斜面はアレチウリ、クズ）が 密生しており、段階的に駆除し、植栽環境を整備していくことが重要と考 えます。 多少暗い環境をつくるか、徹底した刈り込み、抜きとりの実施が必要で すので、時間をかけて継続して取り組み、その変化をみながら対応してい くことが重要と考えられます。 指摘を踏まえ候補種を検討しました。		16-48	
南大手 門一帯	15	現在市の駐車場となっている借地は市民会館の駐車場という位置付 けであるため、会館移転後は返却が必要になる。 南大手門や堀の再現を明確に方向付けたうえで土地の確保をお願い したい。	南大手門整備、堀の整備、扇坂の復元を明確に今回の計画に位置づ ける。		16-33	
全体	16	イメージCGの方向でよいのではないか。城壁と切岸、土壘で(曲輪の) アウトラインを整備し、樹木を整理したい。	資料16に堀・柵など曲輪の仕切りを強調する遺構についての整備方針 のたたき台を整理しましたので、第8回委員会にて検討をお願いいたしま す。	検討事項2 復元を目指す 遺構の確認	本文 16-42,43 図面 16-44	